

えほんのおへや通信



2016年7月1日(金)発行 サンガこども園 ☎046-255-0148

夏至は夏真っ盛りという意味ですが、梅雨の最中でその実感がなく過ぎ去りました。実感としての夏は一月先、これから本格的な夏到来といえましょう。

サンガこども園で定期購読しています福音館書店の月刊幼児絵本「こどものとも」7月号の紹介。

<p>こどものとも 0.1.2 10ヶ月～2歳向き</p> <p>「あかいボール」 高部晴市作</p> <p>赤いボールがポ～ン。ねこさんのうえをポ～ン。赤いボールがポ～ン、ポ～ン。ぞうさんの体の上をポン、ポ～ン。きりんさん、かめさんの上も跳びはねて、最後はどこに着地したでしょう？</p> 	<p>こどものとも 年少版 2～4歳向き</p> <p>「ひとくち どーぞ」 山崎克己作</p> <p>男の子が、猫にクッキーを「ひとくち どーぞ」。でも、猫は「おさかな あるから いらぬ いらない」。男の子はうさぎにもカメにも「ひとくち どーぞ」と言いますが、断られてしまいます。そのとき、……。</p> 
<p>こどものとも 年中向き 4～5歳向き</p> <p>「ちいさな あかい にわとり」 ～アイルランドの昔話～ 大塚勇三再話 / 日紫喜洋子絵</p> <p>森の中のちいさな家に、こねことこねずみと、ちいさな赤いにわとりが住んでいました。仕事をしない2匹をよそに、せっせと働くちいさな赤いにわとりでしたが……</p> 	<p>こどものとも 5～6歳向き</p> <p>「おとうさんのうまれた うみべのまちへ」 小嶋雄二作 / 森英二郎画</p> <p>ひなはお父さんの故郷へ帰省することになりました。綱引きの祭りがあるからです。じいちゃんたちに再会し、市場で好物の干物が売られているのを見つけたり、ふだんとちがう言葉で話すお父さんの姿に気づいたりします。</p> 
<p>ちいさなかがくのとも 3～4～5歳向き</p> <p>「しーっ あれは なんの おと？」 小野寺悦子文 / 城芽ハヤト絵</p> <p>ぷち ぴちん。庭の方から小さな音がした。なんの音？ ハチの羽音はもっと大きいし、アリの足音は聞こえない。その時また、ぴちん！</p> 	<p>他にこんな絵本も購入しました。</p> <p>「はっきよい どーん」 作：やまもと ななこ 4歳から</p>  <p>講談社</p> <p>相撲の取り組みで優勝がかかった大一番。小兵の力士が大横綱の武留道山（ぶるどうざん）にいざ、勝負！という痛快な絵本です。はっきよい、どーんと、ぶつかりあう、身体と身体。迫力ある画面構成で場所の臨場感もたっぷりです！</p> <p>※年齢は目安です。</p>

【雑感】

ペットブームだそうです。飼育数は犬と猫を合わせると約2400万頭も飼われていて、2軒に1軒はどちらかがいる勘定になります。フン、尿の始末や鳴き声のトラブルも多いそうです。サンガの子どもたちが遊ぶ公園では不審者の心配よりフンの放置が心配で、後始末に追われています。これは飼い主のマナーの問題というより、人間性の問題ではないでしょうか。

